



どうなんだより

平成29年夏号

株式会社リッキーファーム

～新たな取り組みをすすめる1戸1法人～



地域を担う 農地所有適格法人の横顔

所在地：北斗市
代表者：長尾 典彰
構成員：2名
雇用：5名（社員3名、パート2名）
設立：平成25年10月
事業内容：水稻、大豆、小麦、トマトの生産・販売

取引先への信用力を担保するため、法人化に踏みきる。同年には将来を見据えJGAPを取得し、経営改善の他、取引先や消費者に向け信頼の確保にも取り組んでいる。2年前からは、新規作物として秋まき小麦・春まき小麦の栽培も開始し、地域の先駆的な役割を担っている。

法人経営のメリット

- 責任の所在がしっかりし信用力が増すことで、取引先と継続的な事業を行えるようになった。

法人運営のポイント

- 社員やパートが、長く働ける職場づくり、福利厚生などの待遇に留意している（定年まで働ける職場、休日はしっかり取れることなど）。
- やりがいを持って仕事ができる環境づくり（仕事をまかせる。自分たちで判断していくこと。）

これから法人化を目指す農業者へ一言

- どういう農業・経営をやっていききたいか、将来への目標を持つこと。

最近の雇用就農の動きについて

雇用就農とは、「農業法人に就職」することを指し、従業員として働く就農スタイルです。働きながら技術を身につけ、将来的に独立する方も居ます。農林水産省の最近の調査結果（平成27年度）では、新規就農者のうち雇用就農の割合は16%となっています（44歳以下では37%！！）。

東京や大阪、札幌で行われる就農相談会（新・農業人フェア）において、新規参入相談のほかに農業法人からは社員募集の呼びかけを行っています（H29.6.3札幌会場では48件の出展の内、農業法人は11件出展がありました）。大学生や高校生の来場もあり、農業法人への就職について相談する姿も見られます。

道南地域では雇用の受け皿となる農業法人はまだ多くないですが、全国的には増加傾向にあり今後ますます増えていくと思われます。

トピックス

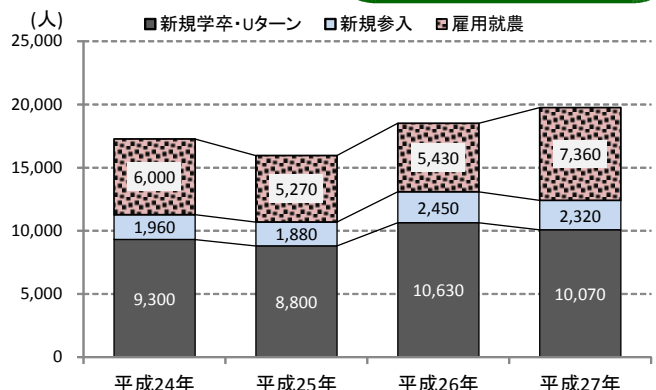


図 全国の44歳以下新規就農者数推移（農林水産省）

集落営農や農業生産法人に関するお問い合わせは、最寄りのJAまたは普及センターまで。

編集事務局（渡島農業改良普及センター）
電話番号 0138-77-8242